

学年	教科	主題名	資料名	児童	指導者
5年	道徳科	「思いやりの気持ちの伝え方」 B 親切・思いやり	キャンプのできごと (教育出版)	5年1組 24名	鈴木桂子

### ねらいとする価値

指導に当たっては、特に相手の立場に立つことを強調する必要がある。自分自身が相手に対してどのように接し、対処することが相手のためになるのかをよく考えた言動が求められる。また、人間関係の深さの違いや意見の相違などを乗り越え、思いやりの心とそれが伴った親切な行為を、児童が接する全ての人に広げていくことも大切である。そのためには、児童が多様な人々と触れ合い、助け合って何かをするような機会を増やすとともに、それらの体験を生かし、思いやりの心をもつことの大切さについて深く考えられるように工夫する必要がある。

### 児童の実態

何かを成し遂げようとする意欲があり、自己肯定感も5年当初から見ると高くなってきた。友達へ励ましの言葉をかけることが多いなど、学級では友達同士の関わり合いが深い。しかし、地域行事や放課後等で学級を離れると、仲の良い友達を優先したり、グループを作ったりすることが多く、そこから外れている友達がいても気にならないことが多く見られる。

道徳性検査の結果からは、互いに信頼し、友情を深め、男女仲良く協力し合うことは全国平均より高い。その一方で、思いやりの心を持ち、相手の立場に立って親切にする項目では全国平均に比べ低い傾向にある。

これらのことから、互いに協力し、共に頑張ろうという意欲を持たせたまま、相手の立場に立ったり、気持ちを考えたりすることへ意識を向け、思いやりの心を持ち、相手の立場に立った親切ができるようにしたい。

### 本時のねらい

誰に対しても思いやりの心を持ち、相手の立場に立った親切を行動に表すための判断力を育てる。

### 本時の指導について

本時では、資料を通して、これまでの自分の言動が、本当に相手の立場に立ったものであったか、相手の気持ちを考えた行動ができていたのかを考えさせることで、高学年としてとるべき態度に気づき、自覚をもって行動する判断力を育てたい。

### 子供の深い学びの姿

相手の立場に立ち、相手の気持ちを考えた行動が、思いやりの心を持ち、親切な行動へとつながることに気付く。

### 資料について

本資料は、キャンプのグループ分けで、仲の良い4人グループの中に知らない人が一人加わった時の話である。初めはうまくいかなかった子ども達もやがて仲良くなり、キャンプは成功したかのように思えた。しかし、帰りのバスの座り方から気まずい別れ方をしてしまう。子ども達にとっても身近に感じられる話である。仲のいいもの同士の視点で考えるのではなく、知らない人の立場で場面を捉えさせ、楽しいと感じる毎日の中でも、ひとりぼっちで苦しんだり、悲しんだりしている人がいることに気付かせたい。

後半場面の、気にはなっているが「ま、いいか。」と見過ごしてしまった時にも、相手の立場に立って考え、その時どうすれば良かったのか、どうすることが思いやりの心につながるのかを考えることで、これからの生活のなかで、思いやりの心を持ち、何が相手にとって親切なのかを考え、それを行動に表せるように判断する力を育てることができると考えた。

本時の学習

(1)ねらい

誰に対しても思いやりの心を持ち、相手の立場に立った親切を行動に表すための判断力を育てる。

(2)展 開

\*一単位時間レベルB-②【対話重視】

	教師の働きかけ(○主な発問)	予想される児童の心の動き	・指導上の留意点 ◆評価の視点 *思考を活性化させるアクティブ化ポイント
道徳的価値への動機付け5分	1 アンケート結果から問題を明確にする。 ○親切・思いやりとはどんなことだと思いますか。 ・親切にして良かった…100% ・親切にして喜んでもらえた…100% ・親切にされたけど迷惑だった…33% ○どんな状態でどんなときでしたか。 ・困っていたときに気付いてもらえなかった…50% ○どんな状態でどんなときでしたか。 ○この結果をどう思いますか。 2 課題を提示する。	・相手のことを考える。 ・困っていたら助けてあげる。 ・自分でできるのに友達がやってしまった。 ・学芸会の練習で困っていたのに誰も声を掛けてくれなかった。 ・ショック。 ・自分はしたつもりだったけど、相手にとっては迷惑だった。 ・自分の気持ちだけで相手のことを考えていなかった。	・アンケート結果を円グラフで提示。
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">                         今までの親切を見直そう。                     </div>			
道徳的価値の把握・追求20分	3 教材「キャンプでの出来事」を読む。 ○どうしてアユは走って帰ってしまったのだろう。 ○何が問題だったのでしょうか。 ○アユはどんな気持ちで座っていたのでしょうか。	・一人で嫌だったから。 ・仲間はずれにされたと思ったから。 ・仲の良い友達とさっさとバスの席に座ってしまったから。 ・「まっ、いいか。」とそのまま見過ごしたから。 ・みんな楽しそうでいいな。 ・わたしのこと友達っていったのに。 ・一人で寂しい。	・原因を明らかにして考える場面を確認する。

<p>道徳的価値の把握・追求 20分</p>	<p>◎「この場合だったら、どうすることが親切なのだろう。」 (中心発問)</p> <p>○様々な視点から考えてみましょう。 ・マトリックス表で検討していく。</p> <p>○様々な意見が出ましたが、全部に共通していることは何ですか。</p>	<p>①バスの座席を事前に決めれば良い。 ②もっと声を掛けてあげれば良い。 ③乗ってすぐ声を掛けて「順番にしよう。」と言えよ。 ④乗るときに座席はこれでいいか確認すればよい。</p> <p>視点1「あなたが私だったら」 視点2「あなたがアユだったら」 視点3「誰にでもできるか」 視点4「それでみんなが幸せか」</p> <p>・相手のことをまず考える ・相手を思う気持ち ・相手の立場に立って考える</p>	<p>* 視点を換えることで、それぞれの立場に応じたよりよい解決策を考えさせる。</p>
<p>道徳的価値の理解の深化 15分</p>	<p>4 問題解決の応用 ・別なシチュエーションで考える。(教育出版「列車の中で」要約文を聞かせる)</p> <p>◎この場合だったらどうですか? どうすることが親切ですか。(重要発問)</p>	<p>①じゃあ、交代して座りましょうと言う。 ②席を詰めて1つの座席に二人で座る。 ③兄と交代して兄の膝に女の子を乗せる。</p>	<p>・道徳ノートに記入させる。 ◆子どもの思考がどのように変化したか。(発言・道徳ノート)</p>
<p>実践への意欲化 5分</p>	<p>5 これからの自分に生かす。 ○今日の学習で学んだことは何ですか。 ○学んだことをこの先どう生かしていきますか。</p>	<p>・相手のことを考えること。 ・それを行動や言葉にすること。</p> <p>・遊んでいて楽しいと夢中になってしまうけど、周りにも気を配っていきいたい。</p>	<p>・道徳ノートに記入させる。</p>

(3) 板書計画



